

激励先 〒264-8585 千葉市若葉区貝塚町192 守大助さんへ

7月の面会日は22日、27日、28日
8月の面会日は10日 日 29日
面会申込は救・神奈川県本部 050-3310-1368 fax045-663-7953
e-mail kyuenkai-k1@clock.ocn.ne.jp
発行:救・千葉県本部Tel043-251-7351fax043-251-4159
E-mail kyuen-chiba@kc4.so-net.ne.jp

6月23日(木) ご両親が面会

2月以来震災のために4ヶ月ぶりの面会でしたので面会時間を延長して頂きました。つる話であつという間に時間が来てしまいました。

両親の無事はこれまでの面会で皆さんから伝え聞いてはいたがどこまでが半信半疑のところがあったが直接会って安堵した。

地震と津波の話で友人知人の震災状況と入院の話に終始肝心の時に医療従事者である自分が両親の傍についてあげられなく残念だ。

自分が何で此処にいなけらばならいのかと怒り心頭と涙を潤ませながら話していたのが印象的でした。

再審も震災のために遅れたが布川の熱が冷めないうちのお願いしたいと話しておりました。

私たちは7月3日は山形・米沢、10日は那須の会、15日大阪岸和田へ支援の訴えへ忙しいので十分身体に気をつけて行きます。

○●面会前後も文通をお願いします!●○

8月27日13時～28日 関東交流会

那須板室温泉 参加費一万円

守さんご夫妻の慰労と勉強会

申込み救援会千葉県本部043-251-7351

救援会神奈川県本部050-3310-1368



雨の中面会して一羊会の人達

◆6月17日雨 一羊会の仲間

中野さんや、大森牧師と小林です。大森牧師は初めて大助さんに出会われ、大きな経験をされました。大助さんは、いつも元気な青年ですが御家族のこと、東北の被災者のことをとても心配されていました。

ニュースで震災の様子を見て、自分も本来ならボランティア活動をしていただろうと話されていました。「僕が面会に来てくださった人たちに涙を見せたり、弱音を吐くと支援して下っている方にもうしわけない。

僕は頑張っています。」と笑顔で話され、この青年を一人にも早く自由の身にと祈らずにはいられませんでした。日并連の支援と共に、再審への扉が早く開きますように!

小林さん(一羊会)

同行森田、戸賀、 差入れ 本

えん罪 仙台北陵クリニック事件とは
守大助さん(当時二九歳)が、勤務していた医療法人北陵クリニックに於いて、患者五人の点滴に筋弛緩剤マスキュラックスを混入したとして二〇〇一年に逮捕。仙台拘置所に身柄を拘束されました。仙台地裁、高裁。最高裁で「無期懲役」が二〇〇八年二月二五日確定。〇八年七月から千葉刑務所にやむなく服役中です。
しかし、大助さんには動機も無く5人の容体急変は筋弛緩剤の薬理効果とは矛盾し、科学鑑定も否定され、試料も警察に廃棄され再鑑定が妨害されている。
現在再審準備中

◆6月28日(水) 杉山(布川)、中沢(布川東京守る会)、北川(北陵クリニック・千葉支援する会)

布川事件の無罪確定後の杉山さんの面会でした。守る会の中沢さんは刑務所面会が初めてで差入れなども準備して来ました。

杉山さんは経験を活かして?!、大助さんへの激励をしました。大助さんは「再審請求を早くだして欲しいが一回で却下されるようなものなく十分練り上げたものを！」千葉でも医療関係者に呼びかけて、大きく広げている。9月の第2回の総会に向けて参加者を呼びかけている。

同行は戸賀。差入れは週刊誌は杉山さん、